

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年5月12日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年5月12日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【既設多核種除去設備(B)高性能容器脱水用空気作動弁の駆動用空気漏えいについて】</p> <p>当社社員の設備パトロールにて、既設多核種除去設備(B)高性能容器脱水用空気作動弁の駆動用空気供給ホースからの空気の微量漏えいを確認。</p> <p>応急処置として漏えい箇所をビニルテープにて補修し漏えい停止を確認。</p> <p>既設多核種除去設備(B)の運転に影響なし。</p> <p>今後、当該空気供給ホースを交換。</p>	GⅢ	5月2日
2	<p>【免震重要棟でのA排水路および物揚場排水路他の簡易放射線検知器の指示値確認不能について】</p> <p>免震重要棟の簡易放射線モニタ監視盤にて、「ネットワークエラー」警報が発生し、A排水路および物揚場排水路他の放射能濃度の指示値確認不能となった。</p> <p>原因は、免震重要棟の監視端末機の伝送不具合と判明。</p> <p>各簡易放射線検知器は正常に動作しており、免震重要棟で確認不能だった時間帯の測定データは現場盤に蓄積されており、蓄積データより測定値に有意な変動が無いことを確認。</p> <p>その後、監視端末の遠隔監視ソフトウェアを再起動することで復旧。</p> <p>今後、伝送不具合となった原因を調査後、対策を検討。</p>	GⅢ	5月5日